

2018 年度文学部心理学科卒業論文発表会プログラム

下記の通り卒論発表会を行います。

卒論を提出した4年生は、卒業論文の単位取得に必須となりますので、両日とも必ず参加してください。
1～3年生および大学院生も奮って参加してください。

◆ 日時：

1月31日（木）12：30～17：15 / 2月1日（金）12：30～17：15

◆ 会場：

G601 教室，G602 教室（2つの会場で並行して行います。）

◆ 事前準備：

発表時に使用する PowerPoint（PPT）のファイルを事前に提出してください。

1月14日（月）～1月24日（木）12時締切

実習室にて USB メモリのウイルスチェックを行った後，登録用 PC にファイルをコピーしてください。

（USB に PPT ファイル以外は入れないこと）

◆ 発表：

1人につき 発表 12分＋質疑応答 3分です（発表時間厳守）。

卒論要旨集は初日（1月31日）に配付します。

発表会当日には、PPT ファイルを念のため必ず持参してください。

資料を別途配付することも可能ですが，そのさいは事前に指導教員に印刷を依頼してください。

◆ 評価：

卒業論文，要旨，口頭発表，質疑応答，卒論発表会への出席を基に，主査および副査が評価を行います。

◆ 注意事項：

セッション1開始時に出欠を取りますので，両日とも 12:00 までに必ず入室してください。

自分が発表する日は，発表する会場に参加して下さい。自分が発表しない日は，いずれの会場に参加しても構いません。会場間の移動は可能ですが，原則として休憩時間に限りません。

※ スケジュールは，各自の15分に交代の時間を含めて余裕をもって考えています。

セッション間の休憩は15分ですが，どのセッションも終了時間がずれても開始時間はそろえるようにしてください。

※ 卒論発表会各会場にて，卒業式（3月24日）の卒業パーティーの出欠確認および参加費（1,000円）の徴収を行いますので，参加希望者は卒業パーティー申込書と会費を持参し，研究法の指導教員に渡してください。

1日目：1月31日（木） G601 教室

▼セッション1（12:30～13:50）

発表者	題目	主査	副査
林 宏樹	操作性の違いが校正読みと文章理解に与える影響	福田	藤田
栗原 桂	小説によって喚起された感情の変化が感動の強さに及ぼす影響	福田	藤田
金 世瓏	レジリエンスと対人ストレスコーピングとの関連	福田	藤田
矢島 瞳	ミュラー・リヤー錯視の鈍角の大きさが脳血流動態反応へ与える影響 ——近赤外分光法を用いて——	福田	藤田
篠原 寛武	行為者と周囲の人との心理的距離が観察者羞恥に与える影響	福田	藤田

▼セッション2（14:05～15:25）

発表者	題目	主査	副査
柴田 優里奈	愚痴の聞き手の対応とそれに対する話し手の反応が聞き手の感情に与える影響	福田	吉村
西澤 佳穂	音読能力に影響する認知特性	福田	吉村
佐藤 勇輝	読み方が物語移入に及ぼす影響——黙読・音読・朗読の比較から——	藤田	福田
石川 二郎	スマートフォンの位置が作動記憶と注意機能に与える影響	藤田	福田
村手 美妃香	特性的自己効力感とジェンダータイプによるレポート成績に対する原因帰属の違い	藤田	福田

▼セッション3（15:40～17:00）

発表者	題目	主査	副査
土橋 沙織	顔の信頼性と行動の協力性が再認に与える影響	藤田	福田
劉 暁絵	ジェスチャーの種類が説明文の理解度と話者印象に与える影響	藤田	福田
中村 朱里	大学生の授業出席への時間厳守行動における多元的無知現象の検討	藤田	吉村
平松 紗恵	自尊感情に影響を及ぼす自己の対人魅力要素の検討 ——外見的魅力に着目して——	藤田	吉村
江藤 まり奈	大学生における逸脱行為実行意図と承認欲求の関連性 ——「嫌われたくない」という視点から——	吉村	福田

1日目：1月31日（木） G602 教室

▼セッション1（12:30～13:50）

発表者	題 目	主査	副査
田中 ゆみ	かまちょを嫌うのはどのような人か？	荒井	島宗
滝井 滉平	なぜ祭りは地域住民の社会的ネットワークと地域への愛着を高めるのか？	荒井	島宗
武田 直人	ゴルフにおける感情のセルフコントロールの関連要因	荒井	島宗
丸田 凜子	試合で最高のパフォーマンスを発揮するアスリートとは？	荒井	島宗
井内 萌香	接客業における深層演技・表層演技とワークエンゲイジメントの関連性	荒井	島宗

▼セッション2（14:05～15:25）

発表者	題 目	主査	副査
泉山 希	ピッチャーに対する理想的な声かけを探る	荒井	島宗
菊池 麻乃	大学生における承認欲求と SNS 依存の関連	荒井	島宗
武川 聖奈	大学生の博物館認知の構造とその分類	荒井	島宗
KIM YANGHEE	矯正箸を用いた小豆移動課題による伝統的な箸使い訓練	島宗	荒井
工藤 未悠	オンラインショッピング場面におけるポイント還元と現金割引の選択に商品の価格帯が及ぼす影響	島宗	荒井

▼セッション3（15:40～17:15）

発表者	題 目	主査	副査
三宅 智子	正多面体の展開問題を解法通りに解く行動にマトリックス訓練が及ぼす影響	島宗	荒井
野上 亜里沙	英字拾い課題の遂行にチョコレートが及ぼす影響	島宗	荒井
相川 柚佳	目標設定とフィードバックが大学生の新聞を読む行動に及ぼす影響	島宗	荒井
大木 日菜子	正誤のフィードバックを用いた大学生の相対音感訓練	島宗	荒井
川上 聖次郎	他者選択による菓子の減少や少数状態が選択に及ぼす影響	島宗	荒井
汐月 勇太	お笑いビデオ鑑賞中の大学生の笑い反応に及ぼす禁止の影響	島宗	荒井

2 日 目 : 2 月 1 日 (金) G601 教 室

▼セッション 1 (12:30~13:50)

発表者	題 目	主査	副査
宮下 知己	大学生を対象とした幾何学図形における美的配置の研究枠から配置図形までの距離が美的評価に及ぼす影響	吉村	藤田
佐藤 安花里	自己関連性と説得フレームの違いが意思決定に及ぼす影響 ——報酬に対する意思決定・変容のプロセスから有効な説得法を考える——	吉村	藤田
小嶋 綾華	広告形態の違いがマッチングアプリの印象形成に及ぼす影響	越智	田嶋
渡来 勇佑	バンドマンは本当にチャラいのか ——バンドマンにおける恋愛遊戯性とやさしさに関する検討——	越智	田嶋
石渡 奈穂	恋人間においてプレゼントの金額が感情評定に与える影響についての検討	越智	田嶋

▼セッション 2 (14:05~15:25)

発表者	題 目	主査	副査
菊地 南菜	父親魅力の二要因モデルとその規定因 ——好かれるお父さん・嫌われるお父さん——	越智	田嶋
佐々木 香菜	Heavy Metal が怒り感情に及ぼす影響 ——カタルシス効果は生じるのか——	越智	田嶋
木村 莉菜	大学生における束縛許容度に影響を及ぼす要因の検討 ——どのような人が束縛を許してしまうのか——	越智	田嶋
向井 沙織	大学生女性が求める理想の交際相手と結婚相手の違いについての検討	越智	田嶋
辻生 美玖	終助詞「よ」と「ね」を用いた発話が発話者の印象に及ぼす効果 ——聞き手と発話者の関係性に注目して——	田嶋	越智

▼セッション 3 (15:40~17:15)

発表者	題 目	主査	副査
山下 千晶	「ながら」習慣と聴取音楽が作業効率に与える影響	田嶋	越智
松坂 侑香	抑揚の大きさと表情が他者の信頼性判断に及ぼす影響	田嶋	越智
北村 茜	フィードバックの方法がカテゴリ定義規則と学習に及ぼす影響への検討	田嶋	越智
佐々木 晴	ペンタトニックメロディを用いたサウンド・ロゴが商品名の評価と記憶に及ぼす影響 ——音階数と接触頻度に注目して——	田嶋	越智
珍田 かなえ	依頼の仕方が発話者の印象に与える影響 ——コストの程度と間の取り方に注目して——	田嶋	越智
坂井 巴美	複雑な感情の認知——言語内容・表情・音声の影響力の比較——	田嶋	越智

2 日 目 : 2 月 1 日 (金) G602 教 室

▼セッション 1 (12:30~13:50)

発表者	題 目	主査	副査
住田 活真	筋力トレーニングが調整力に及ぼす影響	林	高橋
石井 智貴	中高生時代の学級内における生徒間の関係性と現在の発話傾向との関連	林	高橋
菊地 美祈	香りがメンタルワークパフォーマンスにおよぼす影響	林	高橋
安藤 真帆	大学生における収入, セルフ・コントロール能力および衝動性が非計画購買に及ぼす影響	林	高橋
岩淵 優佳	課題遂行時のストレスが間食摂取態度に及ぼす影響	林	高橋

▼セッション 2 (14:05~15:25)

発表者	題 目	主査	副査
土屋 快	ストレス状態における音楽聴取が感情に及ぼす影響	林	高橋
岩部 しおり	大学生における対人不安感情と同調行動が他者依存に及ぼす影響	林	高橋
阿出川あすか	状況にあわせた情動調整は受け手に良い印象を与えるか ——喜びと悲しみの不一致表出に着目して——	高橋	林
國定 稔弘	ストレス負荷後の腹式呼吸の有無におけるリラックス効果	高橋	林
比留間 久実	香りのリラックス効果と教示の影響の検討 ——ラベンダーの香りを用いて——	高橋	林

▼セッション 3 (15:40~17:15)

発表者	題 目	主査	副査
松尾 崇基	指尖光電式容積脈波を用いた虚偽検出における自我関与度の影響	高橋	林
田中 航太郎	名字による妨害行為の差異に着目した虚偽検出検査	高橋	林
石垣 里奈子	不眠と抑うつが生活の質 (QOL) に与える影響 ——性差による視点を加えて——	高橋	林
島岡 郁也	ストレスの低減につながる自然画像のリラックス効果の検討	高橋	林
河村 実莉	スピーチ課題における社交不安傾向者の心理的反応と生理的反応 ——適切な目標設定が与える影響について——	高橋	吉村
吉田 晴子	過剰適応とアサーションと抑うつとの関連 ——他者の認識要因と性差を取り入れた検討——	高橋	吉村